

平成26年3月期 第3四半期連結決算概要

平成26年1月31日
住友化学株式会社

(単位：億円)

1. 業績

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増減
売上高	14,223	16,063	1,839
営業利益	368	712	344
経常利益	376	726	350
四半期(当期)純利益	△407	246	652
1株当たり四半期(当期)純利益	△24円89銭	15円02銭	39円91銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	△8.8%	4.4%	13.2%
平均為替レート(円/＄)	79.95	99.36	—
ナフサ価格(円/KL)	55,400	65,600	—

平成26年3月期 (11月予想)	平成25年3月期
22,300	19,525
1,050	450
1,000	503
300	△511
18円35銭	△31円25銭
5.6%	△10.4%
97.00	82.91
64,900	57,500

2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増減
基礎化学	売上高	1,937	2,052	115
	営業利益	△48	△75	△27
石油化学	売上高	5,055	5,714	659
	営業利益	△17	54	71
情報電子化	売上高	2,213	2,735	522
	営業利益	72	292	220
健康・農業 関連事業	売上高	1,702	2,072	369
	営業利益	89	147	57
医薬品	売上高	2,924	3,079	155
	営業利益	373	392	20
その他	売上高	392	410	18
	営業利益	58	53	△5
全社費用等	売上高	—	—	—
	営業利益	△160	△151	9
合計	売上高	14,223	16,063	1,839
	営業利益	368	712	344

平成26年3月期 (11月予想)	平成25年3月期
2,800	2,635
△70	△64
7,900	6,939
55	△32
3,800	3,000
395	117
3,200	2,626
375	263
4,100	3,786
410	309
500	540
60	80
—	—
△175	△222
22,300	19,525
1,050	450

平成25年11月1日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増 減
売上高	14,223	16,063	1,839
営業利益	368	712	344
持分法投資損益	60	△4	△64
為替差損益	17	62	44
その他	△69	△42	27
経常利益	376	726	350
事業構造改善費用	△65	△90	△26
減損損失	△30	△77	△47
投資有価証券売却益	-	33	33
その他	15	39	24
税金等調整前四半期純利益	297	631	334
法人税等	△583	△236	347
少数株主損益調整前四半期純利益（△は損失）	△286	395	681
少数株主利益	△121	△149	△29
四半期純利益（△は損失）	△407	246	652

4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成25年3月期末 現在	平成26年3月期 第3四半期末 現在	増 減		平成25年3月期末 現在	平成26年3月期 第3四半期末 現在	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	11,088	12,598	1,510	支払手形及び 買掛金	2,561	2,813	251
現金及び預金	749	1,061	312	有利子負債	10,606	11,956	1,351
受取手形及び 売掛金	4,043	4,113	69	その他	4,079	4,328	249
たな卸資産	4,105	4,532	427	負債合計	17,246	19,097	1,851
その他	2,191	2,893	702	(純資産の部)			
固定資産	13,633	15,641	2,008	株主資本	5,245	5,368	123
有形固定資産	6,402	7,501	1,099	その他の包括利益累計額	△280	858	1,139
無形固定資産	1,851	1,994	143	少数株主持分	2,510	2,915	405
投資その他の 資産	5,379	6,145	766	純資産合計	7,475	9,142	1,667
資産合計	24,721	28,239	3,518	負債・純資産合計	24,721	28,239	3,518

5. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期	平成26年3月期 第3四半期	増減	平成25年3月期
営業キャッシュ・フロー	700	940	239	1,716
投資キャッシュ・フロー	△1,381	△1,244	137	△1,658
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	△681	△304	377	58
財務キャッシュ・フロー	428	573	145	△360
その他の	△4	183	187	89
現金及び現金同等物の増減	△257	452	709	△213



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長

(氏名) 佐々木 啓吾

TEL 03-5543-5160

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,606,250	12.9	71,161	93.4	72,643	93.2	24,553	—
25年3月期第3四半期	1,422,311	△1.5	36,786	△37.0	37,597	△22.4	△40,693	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 148,654百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △27,675百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	15.02	14.78
25年3月期第3四半期	△24.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,823,891	914,172	22.1
25年3月期	2,472,091	747,482	20.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 622,676百万円 25年3月期 496,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,230,000	14.2	105,000	133.3	100,000	99.0	30,000	—	18.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) SSLM株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,655,446,177 株	25年3月期	1,655,446,177 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	20,926,549 株	25年3月期	20,840,472 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,634,569,104 株	25年3月期3Q	1,634,635,403 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ1,839億円増加し、1兆6,063億円となりました。損益面では、営業利益は712億円、経常利益は726億円、四半期純利益は246億円となり、それぞれ前年同四半期を上回りました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。

(基礎化学)

メタアクリルや合成繊維原料は市況の低迷が続き、出荷も低調に推移しました。アルミニウムも出荷が減少しました。一方、円高の是正による在外子会社の邦貨換算差の影響がありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ115億円増加し2,052億円となりましたが、営業損益は前年同四半期に比べ27億円悪化し75億円の損失となりました。

(石油化学)

合成樹脂や石油化学品は原料価格の上昇により市況が上昇しましたが、ペトロ・ラービグ社における設備修繕等の影響により稼働率が低下したことから、海外子会社の出荷が減少しました。また、円高の是正による在外子会社の邦貨換算差の影響がありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ659億円増加し5,714億円となり、営業損益は前年同四半期に比べ71億円改善し54億円の利益となりました。

(情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムは需要の増加により販売が増加しました。また、前年度に稼働を開始したタッチセンサーパネル設備が、当四半期は期を通じて販売に寄与しました。この結果、円高是正の影響も加わり、売上高は前年同四半期に比べ522億円増加し2,735億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ220億円増加し292億円となりました。

(健康・農業関連事業)

農業は生産能力の増強や拡販により海外で除草剤を中心に出荷が増加しました。メチオニン（飼料添加物）の市況は軟化しましたが、出荷は拡販により増加しました。また、円高の是正による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ369億円増加し2,072億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ57億円増加し147億円となりました。

(医薬品)

国内では、アイミクス（高血圧症治療剤）、メトグルコ（ビッグアナイド系経口血糖降下剤）、ロナセン（非定型抗精神病薬）が伸長しましたが、既存品の出荷減少の影響が大きく、販売が減少しました。北米では、ゾペネックス（短時間作用型β作動薬）の出荷が独占販売期間の終了により大きく減少しましたが、ラツータ（非定型抗精神病薬）の出荷が引き続き拡大したほか、円高の是正による邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ155億円増加し3,079億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ20億円増加し392億円となりました。

(その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ18億円増加し410億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ5億円減少し、53億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ3,518億円増加し2兆8,239億円となりました。在外子会社および関連会社の換算レートが前連結会計年度末に比べ円安となったこと、有形固定資産や「商品及び製品」等のたな卸資産が増加したことが主な要因です。

負債は前連結会計年度末に比べ1,851億円増加し1兆9,097億円となりました。有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く）が前連結会計年度末に比べ1,351億円増加し、1兆1,956億円となったことが主な要因であります。

純資産（少数株主持分を含む）は、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が改善したことにより、前連結会計年度末に比べ1,667億円増加し9,142億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.0ポイント上昇し、22.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月1日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年12月にS S L M株式会社の株式を追加取得したことに伴い、従来持分法適用の範囲に含めていたS S L M株式会社を第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,932	106,124
受取手形及び売掛金	404,340	411,258
有価証券	86,464	91,325
商品及び製品	300,520	337,253
仕掛品	15,093	16,589
原材料及び貯蔵品	94,856	99,328
その他	133,991	199,451
貸倒引当金	△1,379	△1,512
流動資産合計	1,108,817	1,259,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	217,932	245,999
機械装置及び運搬具(純額)	235,562	256,786
その他(純額)	186,730	247,346
有形固定資産合計	640,224	750,131
無形固定資産		
のれん	79,223	90,686
その他	105,888	108,763
無形固定資産合計	185,111	199,449
投資その他の資産		
投資有価証券	396,165	451,316
その他	142,860	164,125
貸倒引当金	△1,086	△946
投資その他の資産合計	537,939	614,495
固定資産合計	1,363,274	1,564,075
資産合計	2,472,091	2,823,891

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,136	281,281
短期借入金	191,391	259,524
1年内償還予定の社債	50,000	55,000
コマーシャル・ペーパー	112,000	150,000
未払法人税等	8,396	11,271
引当金	54,160	55,735
その他	197,944	194,578
流動負債合計	870,027	1,007,389
固定負債		
社債	347,000	352,000
長期借入金	360,176	379,104
退職給付引当金	30,804	31,865
その他の引当金	13,703	12,718
その他	102,899	126,643
固定負債合計	854,582	902,330
負債合計	1,724,609	1,909,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,695	23,695
利益剰余金	419,893	432,247
自己株式	△8,773	△8,804
株主資本合計	524,514	536,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,150	80,692
繰延ヘッジ損益	729	22
土地再評価差額金	4,130	4,130
為替換算調整勘定	△93,023	995
その他の包括利益累計額合計	△28,014	85,839
少数株主持分	250,982	291,496
純資産合計	747,482	914,172
負債純資産合計	2,472,091	2,823,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,422,311	1,606,250
売上原価	1,053,554	1,173,425
売上総利益	368,757	432,825
販売費及び一般管理費	331,971	361,664
営業利益	36,786	71,161
営業外収益		
受取利息	1,478	1,362
受取配当金	4,050	4,347
持分法による投資利益	5,994	—
為替差益	1,714	6,154
雑収入	4,632	6,542
営業外収益合計	17,868	18,405
営業外費用		
支払利息	9,750	9,594
コマーシャル・ペーパー利息	81	83
持分法による投資損失	—	440
雑損失	7,226	6,806
営業外費用合計	17,057	16,923
経常利益	37,597	72,643
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,251
固定資産売却益	—	2,054
負ののれん発生益	—	1,740
条件付取得対価に係る公正価値の変動額	—	1,068
段階取得に係る差益	1,512	—
特別利益合計	1,512	8,113
特別損失		
事業構造改善費用	6,462	9,023
減損損失	2,967	7,666
投資有価証券評価損	—	985
特別損失合計	9,429	17,674
税金等調整前四半期純利益	29,680	63,082
法人税等	58,298	23,593
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△28,618	39,489
少数株主利益	12,075	14,936
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,693	24,553

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△28,618	39,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,681	20,988
繰延ヘッジ損益	296	△350
為替換算調整勘定	3,256	68,885
持分法適用会社に対する持分相当額	2,072	19,642
その他の包括利益合計	943	109,165
四半期包括利益	△27,675	148,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,367	114,218
少数株主に係る四半期包括利益	9,692	34,436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	193,674	505,510	221,286	170,248	292,431	1,383,149	39,162	—	1,422,311
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,439	3,602	2,909	3,132	—	21,082	40,672	△61,754	—
計	205,113	509,112	224,195	173,380	292,431	1,404,231	79,834	△61,754	1,422,311
セグメント利益 又は損失(△)	△4,756	△1,659	7,227	8,912	37,250	46,974	5,774	△15,962	36,786

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益又は損失の調整額△15,962百万円には、セグメント間取引消去△296百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,666百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

情報電子化学セグメントにおいて、営業停止を決定した当社子会社の一部の事業用資産について回収可能性を評価し、減損損失2,553百万円を計上している。

医薬品セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、減損損失414百万円を計上している。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	205,209	571,424	273,529	207,178	307,938	1,565,278	40,972	—	1,606,250
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,764	5,699	2,882	1,824	—	21,169	37,706	△58,875	—
計	215,973	577,123	276,411	209,002	307,938	1,586,447	78,678	△58,875	1,606,250
セグメント利益 又は損失(△)	△7,475	5,415	29,189	14,653	39,208	80,990	5,255	△15,084	71,161

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益又は損失の調整額△15,084百万円には、セグメント間取引消去366百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,450百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

石油化学セグメントにおいて、製造・販売業務終了を決定した当社子会社の一部の事業用資産について回収可能性を評価し、減損損失1,804百万円を計上している。

医薬品セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した有形固定資産および仕掛研究開発について回収可能性を評価し、それぞれ364百万円および4,238百万円を減損損失に計上している。

(重要な負ののれん発生益)

石油化学セグメントにおいて、当社の連結子会社を完全子会社化したことに伴い、負ののれん発生益1,108百万円を計上している。